



# ユーザーガイド

HP HC270cr

© Copyright 2018, 2019 HP Development Company, L.P.

バージョン : C、2019 年 7 月

製品番号 : L23646-293

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

法的製造業者 : HP Inc. (1501 Page Mill Road, Palo Alto, CA 94304, P.C.94304 – 1112, Palo Alto, United States)

正規代理店 : Emergo Europe B.V.  
(Prinsessegracht 20, 2514 AP The Hague, The Netherlands)



Wistron InfoComm (ZhongShan) Corporation  
Linhai Branch (Xiyiwei, Ma'an Cun, Zhongshan  
Torch Development Zone, Zhongshan,  
Guangdong, P.R. China) は、ISO13485:2003/  
EN13485:2012 の要件に適合していると評価  
および認定されています。

#### 製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザーガイド]**を選択します。

初版 : 2018 年 4 月

改訂第 1 版 : 2018 年 6 月

改訂第 2 版 : 2019 年 7 月

バージョン : A、2018 年 4 月

バージョン : B、2018 年 6 月

## このガイドについて

このガイドでは、ディスプレイの特長、ディスプレイの設置方法、ソフトウェアの使用方法、および技術仕様について説明します。

- 
- ⚠ **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
  - ⚠ **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
  - 📄 **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。この重要事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
  - 📖 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
  - 💡 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
- 

**HDMI**™  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。



# 目次

<b>1 お使いになる前に</b> .....	<b>1</b>
安全に関する重要な情報 .....	1
使用適応/用途 .....	2
使用されているマーク .....	3
製品の特長および各部 .....	5
特長 .....	5
前面の各部 .....	7
背面の各部 .....	9
ディスプレイの設置 .....	10
ディスプレイを設置するときの注意 .....	10
スタンドの取り付け .....	10
ケーブルの接続 .....	11
USB デバイスの接続 .....	14
ケーブルカバーの取り付け .....	15
ディスプレイの調整 .....	16
ディスプレイの電源投入 .....	18
ディスプレイの取り付け .....	19
ディスプレイ スタンドの取り外し .....	20
取り付け器具へのディスプレイ本体の取り付け .....	21
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け .....	21
<b>2 ディスプレイの使用</b> .....	<b>22</b>
ディスプレイ ドライバーのダウンロード .....	22
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用 .....	22
機能ボタンの再設定 .....	23
色のオプションの使用 .....	24
ディスプレイのキャリブレーション .....	25
RFID カード リーダーの使用 .....	25
[Windows Hello]の使用 .....	26
PIP (Picture-In-Picture) および PBP (Picture-Beside-Picture) の使用 .....	26
DisplayPort マルチストリーム .....	27
自動スリープモードの使用 .....	28

<b>3 サポートおよびトラブルシューティング .....</b>	<b>29</b>
一般的なトラブルの解決方法 .....	29
ボタンのロックアウト .....	30
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	31
お問い合わせになる前に .....	31
シリアル番号と製品番号の位置 .....	31
<b>4 ディスプレイの保守 .....</b>	<b>32</b>
保守に関するガイドライン .....	32
ディスプレイの清掃 .....	33
消毒メニューの使用 .....	34
ディスプレイの運搬 .....	34
<b>付録 A 技術仕様 .....</b>	<b>35</b>
27 インチ（対角長 68.58 cm）モデル .....	35
プリセットディスプレイ解像度 .....	36
27 インチ（対角長 68.58 cm）モデル .....	36
高解像度ビデオフォーマット .....	36
省電力機能 .....	37
<b>付録 B ユーザーサポート .....</b>	<b>38</b>
ユーザーサポート .....	38
必要なテクノロジツールの確認 .....	38
HP の取り組み .....	38
IAAP（International Association of Accessibility Professionals） .....	39
最適な支援技術の確認 .....	39
ご自身のニーズの評価 .....	39
HP 製品のユーザーサポート .....	39
標準および法令 .....	40
標準 .....	40
Mandate 376 – EN 301 549（欧州連合同向け） .....	40
WCAG（Web Content Accessibility Guidelines） .....	40
法令および規制 .....	41
United States（米国向け） .....	41
21st Century Communications and Video Accessibility Act（CVAA）（米国向け） .....	41
Canada（カナダ向け） .....	42
Europe（欧州向け） .....	42
United Kingdom（英国向け） .....	42
Australia（オーストラリア向け） .....	42

全世界 .....	43
ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク .....	43
組織（英語のみ） .....	43
教育機関（英語のみ） .....	43
障がいに関するその他のリソース（英語のみ） .....	43
HP のリンク .....	44
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	44





# 1 お使いになる前に

## 安全に関する重要な情報

お使いのディスプレイには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。ディスプレイに接続する適切な電源コードについては、『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。2ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

**📄 重要：**ディスプレイおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（ディスプレイ、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いの HP LCD ディスプレイは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているディスプレイ設置用の台などに設置してください。

**⚠ 警告！**化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD ディスプレイを不用意に設置した場合、LCD ディスプレイが倒れて怪我をするおそれがあります。

- LCD ディスプレイに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、つまずいたりしないように注意する必要があります。

**⚠ 警告！**システム構成が不十分な場合、患者に対して許容できない高圧の電流が漏れる危険性があります。

アナログまたはデジタルのインターフェイスに接続されているオプション製品は、それぞれの欧州規格または国際規格（例：データ処理デバイスの場合は EN 60950、医療デバイスの場合は EN 60601-1）に準拠している必要があります。また、医用電気システムを構築するすべての構成は、欧州規格または国際規格の 60601-1 に準拠している必要があります。信号の入力または出力に追加のデバイスを接続するすべてのユーザーは、医療システムの構成を行うこととなりますので、欧州規格または国際規格の 60601-1 の該当するバージョンに対する医用電気システムの準拠について責任があります。ご不明な点については、HP のサポート窓口またはお客様担当者にお問い合わせください。

**📄 重要：**総務省型式指定取得済みの製品を内蔵しています。

**📄 注記：**本機器は、エミッションの特性上、工業分野および病院での使用に適しています（CISPR 11 クラス A）。本機器を家庭環境（通常、CISPR 11 クラス B への適合が必要）で使用する場合は、無線通信サービスが十分に保護されない可能性があります。家庭環境では、本機器の設置場所や設置方向を変更するなど、対策が必要になる場合があります。

## 使用適応/用途

- このモニターは、医療施設または臨床医療環境で患者情報、医療記録、診断用画像、または結果を確認する医療従事者向けのものです。
- このモニターは、人の傷病に関する医療用画像の主解析や診断に使用するものではありません。
- このモニターを手術用機器、生命維持装置、または放射線機器（マンモグラフィー装置を含む）とともに動作させないでください。
- このモニターを、患者の診断を目的として、放射線システム、病理システム、またはマンモグラフィーシステムとともに使用しないでください。

# 使用されているマーク

表 1-1 マークおよび説明




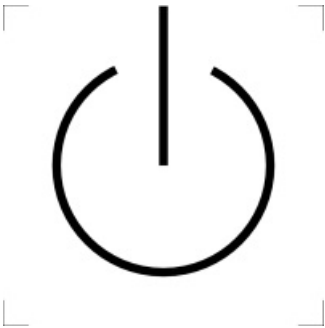
マーク	参照	説明
		<ul style="list-style-type: none"><li>ユーザー マニュアルまたは技術マニュアルを確認します</li><li>すべての警告、取り扱いの指示、および安全に関するアドバイスに従います</li></ul>
		<p>このデバイスまたはその部品を処分するときに、従来の家庭ごみとして捨てないでください。お使いの製品に関する、電気デバイスおよび電子デバイスに関する国や地域の規制に従ってください。詳しくは、以下を参照してください</p> <p>WEEE (Waste Electrical and Electronic Equipment) に関する 2003 年 1 月 27 日付の DIRECTIVE 2002/96/EC OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL</p>
		CE ラベル。CE マークは、関係するすべてのガイドラインおよび規制に準拠していることを示します
	IEC 60417 – 5009	スタンバイ

表 1-1 マークおよび説明 (続き)

マーク	参照	説明
IPN <sub>1</sub> N <sub>2</sub>	IEC 60529	N <sub>1</sub> = 0 保護なし
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 50 mm 以上の外来固形物から保護</li> <li>2. 12.5 mm 以上の外来固形物から保護</li> <li>3. 2.5 mm 以上の外来固形物から保護</li> <li>4. 1.0 mm 以上の外来固形物から保護</li> <li>5. 粉塵から保護</li> <li>6. 粉塵から強力に保護</li> </ol>
		N <sub>2</sub> = 0 保護なし
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 垂直に落ちてくる水滴から保護</li> <li>2. 筐体を最大 15 度傾けた場合に、垂直に落ちる水滴から保護</li> <li>3. 霧状の水から保護</li> <li>4. 水の飛沫から保護</li> <li>5. 噴流から保護</li> <li>6. 強力な噴流から保護</li> <li>7. 一時的な水没の影響から保護</li> <li>8. 継続的な水没の影響から保護</li> </ol>
		<b>注記:</b> 特性数字を指定する必要がない場合は、文字 X で置き換えます (両方の数字を省略する場合は XX)

# 製品の特長および各部

## 特長


このディスプレイの特長は以下のとおりです。

- 2560×1440 以下の解像度をサポートする、27 インチ（対角長 68.6 cm）のディスプレイ。オリジナルの縦横比を保ったまま、最大のサイズまで自由にイメージを拡大することも可能です
- LED バックライト付きでノングレア
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 内蔵デュアルバンド RFID（Radio Frequency Identification：無線自動識別）カードリーダー
- 内蔵 Web カメラ、ノイズキャンセリングマイク、および赤外線（IR）センサー
- 全面アンチグレア（非光沢）カバー ガラス
- IP32 に準拠（前面）
- 自動バックライト監視
- 輝度のムラ補正
- ユーザーによるキャリブレーションのサポート。HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> からダウンロードできる[HP Healthcare Edition DICOM Calibration Tool]（HP ヘルスケア エディション DICOM キャリブレーション ツール）によって提供されます


 **注記：**キャリブレーションソフトウェアは、X-Rite i1Display Pro または Klein K10-A 測色器とともに使用する必要があります。

- 周辺光センサー
- 画像の自動回転。HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> から入手できる[HP Image Auto-rotate Utility]（HP 画像自動回転ユーティリティ）のインストールが必要です
- DisplayPort、USB Type-C 代替モード（DisplayPort 1.2）、HDMI、および VGA ビデオ入力
- DisplayPort マルチストリームのサポート
- PIP（Picture-In-Picture）機能によって、HDMI、DisplayPort、USB Type-C、および VGA 入力を、小さな補助ウィンドウに表示したり、メインウィンドウに並べて表示したりすることが可能
- オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ
- USB 3.0 ハブ（USB Type-C アップストリーム ポート×1、USB Type-B アップストリーム ポート（コンピューターに接続）×1、USB Type-A ダウンストリーム ポート（USB デバイスに接続）×2）
- USB Type-C ポート（最大 65 W の電源を供給可能）
- ディスプレイの USB ハブとコンピューターの USB ポートを接続する USB ケーブル
- フロントパネルの再設定可能なボタンに割り当てることで、頻繁に使用する操作をすばやく選択可能
- 内蔵スピーカー
- 静電容量方式のユニファイド コミュニケーションおよびコラボレーション（UCC）コントロール およびオンスクリーンディスプレイ（OSD）ボタン
- 傾斜角度調整機能

- 横長から縦長へのディスプレイ本体回転機能
- 画面の左右の向きおよび高さを調整可能
- ディスプレイ本体を固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なディスプレイ スタンド
- HP クイック リリース 2 により、ワンタッチですばやくディスプレイ本体をスタンドに取り付けたり、リリースタブをスライドさせるだけでディスプレイ本体を取り外したりすることが可能
- プラグアンドプレイ機能（お使いのオペレーティングシステムでサポートされる場合）
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル用のスロットをディスプレイの背面に装備
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブル管理機能
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、OSD による画面調節機能（複数の言語に対応）
- すべてのデジタル入力での HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能
- DICOM（Digital Imaging and COmmunications in Medicine）Part 14 に準拠し、医療従事者が同僚との協議、患者の診察、および外科計画でクリニカルレビューに使用可能

 **警告！**このディスプレイは、撮影した医療用画像を確認したり、共用したり、患者への説明に使用したりすることを含め、診断以外の目的で使用されるよう想定されています。このディスプレイは、医療用画像の主解析や疾病の診断に使用するものではありません。

- IEC 60601 – 1 – 2:2015 に準拠
- 耐用年数：5 年
- [Microsoft® Skype for Business]認定
- [Windows® Hello]の顔認識を使用した、サイン イン時のセキュリティ強化
- Vidyo 対応
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能

 **注記：**安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。最新版のユーザー ガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。【ユーザー ガイド】を選択します。

## 前面の各部

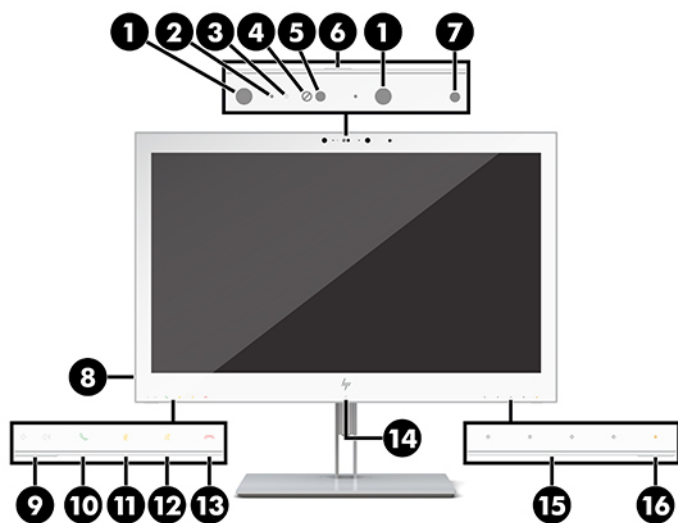


表 1-2 前面の各部および機能

名称	機能
1 赤外線ランプ	IR カメラの使用中に点灯します
2 カメラマイク	ビデオ会議に参加できます
3 カメラランプ	カメラの使用中に点灯します
4 IR カメラのレンズ	[Windows Hello]のログイン機能がオンになっているときに、ユーザーの画像を送信します
5 Web カメラのレンズ	ビデオ会議で映像を送信します
6 カメラのシャッター	カメラを使用していないときにカメラのレンズを覆います
7 周辺光センサー	周囲の明るさに合わせて画面の輝度を自動的に調節します
8 オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売または市販の別途電力が供給されているステレオスピーカーまたはヘッドフォンをディスプレイに接続します  <b>注意：</b> 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、製品に付属の『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください  <b>注記：</b> ヘッドフォンコネクタにデバイスを接続すると、ディスプレイ本体のスピーカーは無効になります
9 音量ボタン	ボタンを押すと、スピーカーの音量を上げたり (+)、下げたり (-) できます
10 応答/通話ボタン	ボタンを押すと、電話に出たり、電話をかけたりできます 緑色に点灯：通話中です 赤色および緑色で点滅：着信中です
11 マイクのミュート（消音）ボタン	ボタンを押すと、カメラのマイクの入力音を消したり、有効にしたりできます オレンジ色：マイクがミュートになっています

表 1-2 前面の各部および機能 (続き)

名称	機能
12	スピーカーのミュート(消音) ボタン ボタンを押すと、スピーカーの音を消したり、有効にしたりできます オレンジ色：スピーカーがミュートになっています
13	拒否/通話終了ボタン ボタンを押すと、電話を拒否したり、通話を終了したりできます 赤色および緑色で点滅：着信中です
14	RFID センサー RFID (Radio Frequency IDentification : 無線自動識別) カードを読み取ります
15	機能ボタン ボタンを押すと、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、調整を行ったり、OSD メニューを閉じたりできます。 <a href="#">メニュー</a> ボタンの上のランプは、OSD メニューが開いていることを示します 頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるように、3つのボタンの機能を割り当てなおすことができます。詳しくは、 <a href="#">23 ページの機能ボタンの再設定</a> を参照してください
16	電源ランプ 白色：ディスプレイの電源がオンになっています オレンジ色：操作しない状態が続いたため、ディスプレイが省電力状態になっています



## 背面の各部

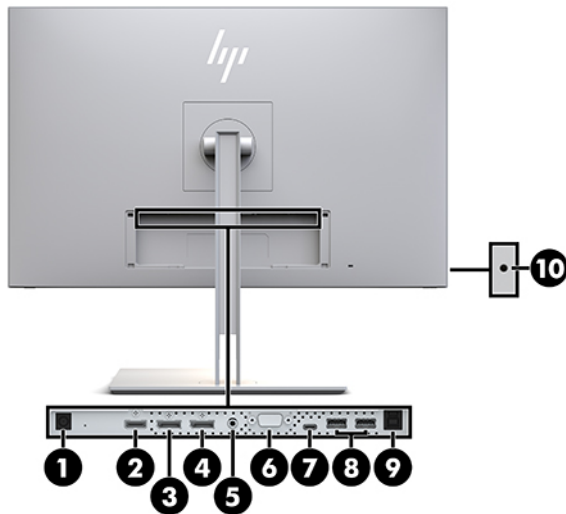












表 1-3 背面の各部および説明

名称	アイコン	機能
1 電源コネクタ		外部電源アダプターをディスプレイに接続します
2 HDMI 入力端子	HDMI	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
3 DisplayPort 入力コネクタ		DisplayPort ケーブルを入力デバイスに接続します
4 DisplayPort 出力コネクタ		DisplayPort ケーブルをプライマリディスプレイからセカンダリディスプレイに接続します
5 オーディオ入力コネクタ		アナログ オーディオ デバイスをディスプレイに接続します
6 VGA コネクタ		VGA ケーブルを入力デバイスに接続します
7 USB Type-C アップストリームポート		USB Type-C デバイスに接続すると、ビデオ、オーディオ、または USB 3.1 アップストリーム データ転送の機能を提供し、最大 65 W の電力を供給します。さらに、接続されているデバイスのバッテリーも充電できます
8 USB Type-A ダウンストリームポート (×2)		別売の USB デバイスをディスプレイに接続します
9 USB Type-B アップストリームポート		コンピューターをディスプレイに接続すると、USB ダウンストリームポートが有効になります。 <a href="#">11 ページのケーブルの接続</a> の手順 3 を参照してください。
10 ヘッドフォン (オーディオ出力) コネクタ		ヘッドフォンまたは別売のスピーカーをディスプレイに接続します

 **注記** : USB Type-C アップストリームポートは、DisplayPort オーディオ/ビデオ入力の入力デバイスとディスプレイの間の単一ケーブル接続、USB 3.0 アップストリーム接続、または接続されたデバイスに最大 65 W の電力を供給する電源として機能します。電源出力は 5 V/3 A、9 V/3 A、10 V/5 A、12 V/5 A、15 V/4.33 A、20 V/3.25 A で、65 W です。

## ディスプレイの設置


ディスプレイを設置するには、ディスプレイ、コンピューター システム、およびコンピューターに接続されているその他の装置の電源がオフになっていることを確認してから、以下の操作を行います。

### ディスプレイを設置するときの注意

ディスプレイの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

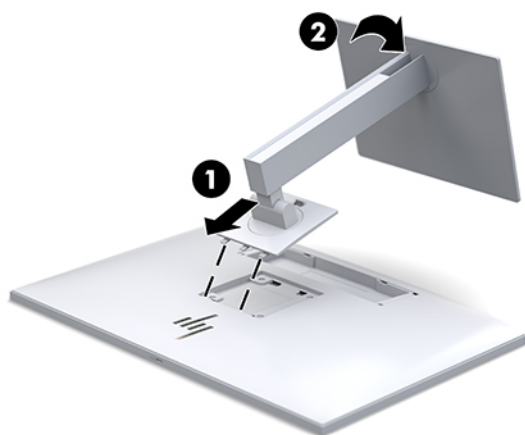
スタンドを取り付ける場合は、ディスプレイの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。これにより、画面を傷つけたり、汚したりすることや、コントロール ボタンを損傷したりすることを防止できます。

### スタンドの取り付け

 **ヒント** : ディスプレイを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光がディスプレイパネルの縁で反射するような向きにならないように配置してください。


HP クイックリリース 2 を使用してディスプレイ本体を簡単に取り付けることができます。ディスプレイ本体をスタンドに取り付けるには、以下の操作を行います。


1. ディスプレイ本体の前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. スタンドのマウントプレート上部を、ディスプレイ背面にあるくぼみの上部の縁の下にスライドさせます (1)。
3. スタンドのマウントプレート下部をくぼみに挿入し、カチッという音がするまで押し込みます (2)。
4. スタンドが所定の位置に固定されると、HP クイック リリース 2 のラッチが飛び出します。



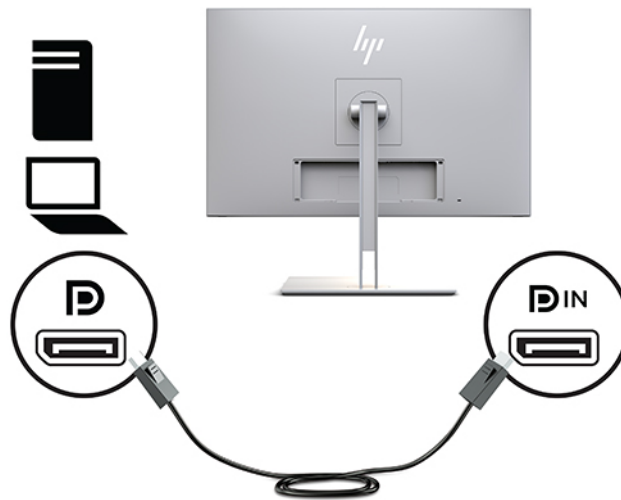
## ケーブルの接続

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気のよい場所にディスプレイを置きます。
2. ビデオケーブルを接続します。

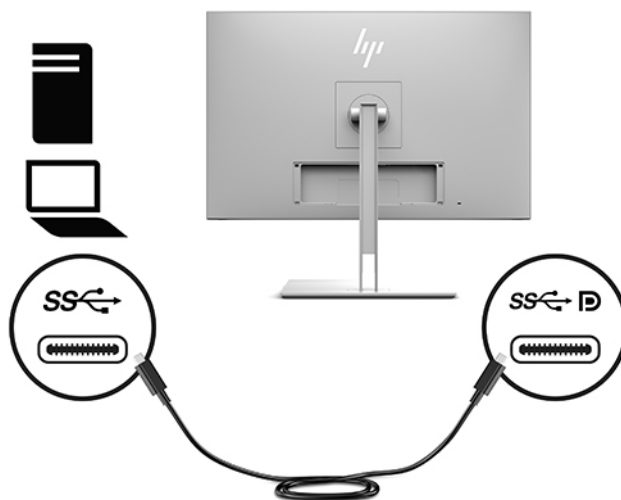
 **重要:** 同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記:** 入力系統から、有効なビデオ信号がディスプレイ側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、ディスプレイの前面にある**次の入力**ボタンを押すか、**メニュー**ボタンを押し、**[入力コントロール]**を選択してオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用します。

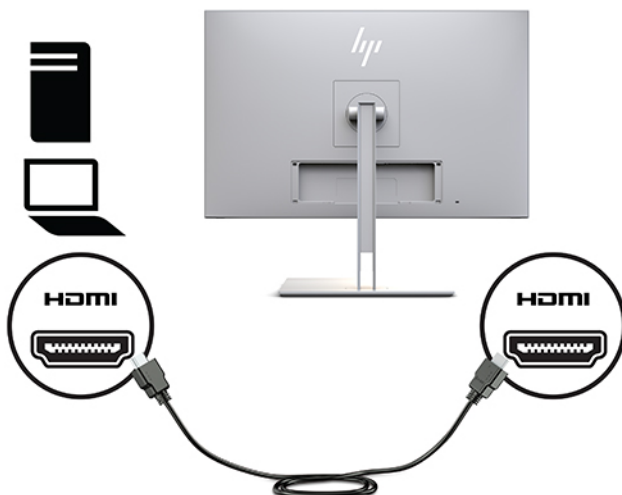
- DisplayPort ケーブルの一方の端をディスプレイの背面の DisplayPort 入力コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。



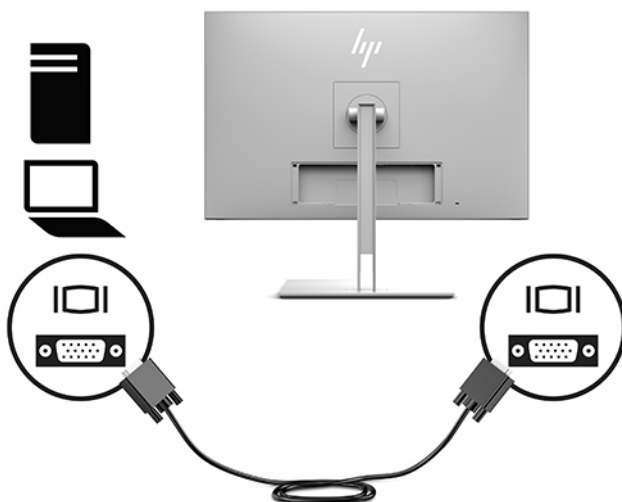
- USB Type-C ケーブルの一方の端をディスプレイの背面の USB Type-C ポートに接続し、もう一方の端を入力デバイスに接続します。



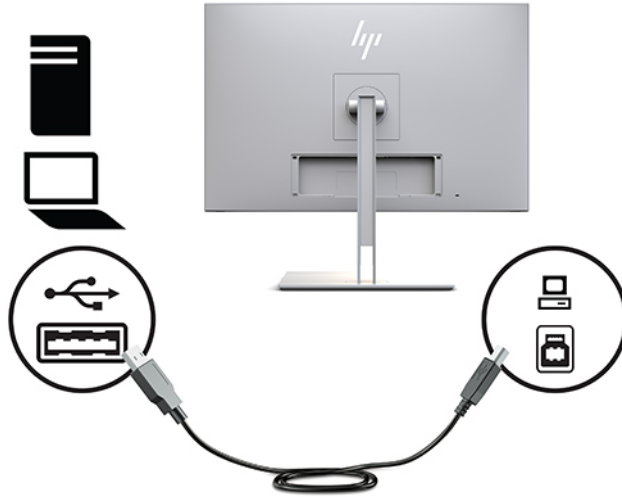
- HDMI ケーブルの一方の端をディスプレイの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスに接続します。



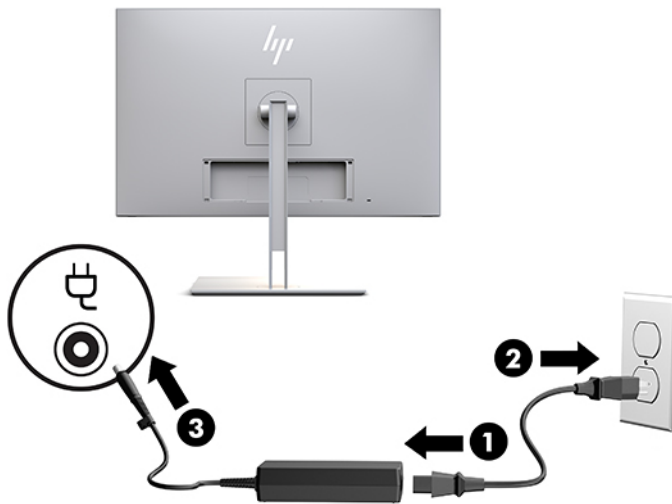
- VGA ケーブルの一方の端をディスプレイの背面の VGA コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスの VGA コネクタに接続します。



3. USB アップストリーム ケーブルの Type-B コネクタをディスプレイの背面の USB アップストリーム ポートに接続し、ケーブルの Type-A コネクタを入力デバイスの USB ダウンストリーム ポートに接続します。



4. 外部電源コードの一方の端を外部電源アダプターに接続し (1)、もう一方の端を電源コンセントに差し込みます (2)。次に、外部電源アダプターをディスプレイに接続します (3)。



**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。



安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

## USB デバイスの接続

USB ポートには、USB ストレージデバイス、USB キーボードや USB マウスなどのデバイスを接続できます。ディスプレイには、標準の USB 接続機能を提供する USB ダウンストリーム ポートが2つあります。

**⚠ 注意：**周辺装置を正しく取り扱わないと、ディスプレイ自体またはディスプレイに接続されているデバイスに損傷が発生する可能性があります。追加のディスプレイやその他の患者モニタリング用デバイスなど、追加の周辺装置をディスプレイに接続する前に、ディスプレイの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

表 1-4 USB ポートおよび機能

名称	アイコン	機能
USB 3.0 標準ダウンストリームポート (×2)		別売の USB デバイスをディスプレイに接続します
USB Type-C ポート (×1)		USB Type-C 対応入力デバイスに接続すると、ビデオ、オーディオ、および USB 3.1 アップストリームデータ転送の機能を提供し、接続されたデバイスに最大 65 W の電力を供給したり、デバイスのバッテリーを充電したりできます

**📝 注記：**ディスプレイの USB ダウンストリームポートを有効にするには、USB アップストリームケーブルをコンピューターからディスプレイに接続する必要があります。手順について詳しくは、[11 ページのケーブルの接続](#)を参照してください。



## ケーブルカバーの取り付け

すべてのケーブルをディスプレイの背面に接続してから、ケーブルカバーの下端をディスプレイの背面のくぼみに挿入し (1)、所定の位置に固定されるまでカバーの上部を押し込んで (2)、カバーを取り付けます。

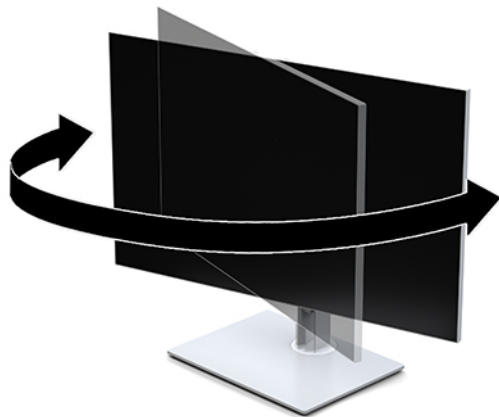


## ディスプレイの調整

1. ディスプレイ本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。

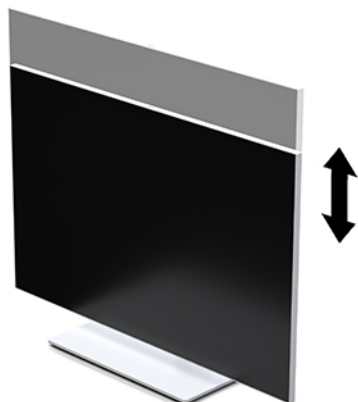


2. ディスプレイ本体を左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。




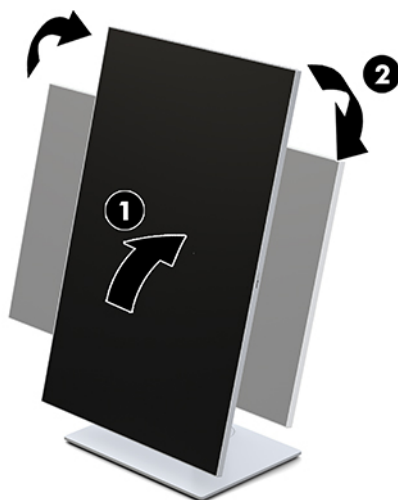


3. ディスプレイの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。ディスプレイの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクトレンズなどを使用している場合は、ディスプレイの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、ディスプレイの位置も必ず調整しなおしてください。



4. 必要に応じて、ディスプレイ本体の表示方向を横向きから縦向きに回転できます。
- a. ディスプレイ本体が最も高い位置になるように調整してから、完全に後方に傾いた位置まで傾斜角度を調整します (1)。
  - b. ディスプレイ本体を時計回り (または反時計回り) に 90 度回転させて、横向きから縦向きに変更します (2)。

 **重要** : 回転させるとき、ディスプレイが最も高い位置で完全に後ろに傾斜していないと、ディスプレイ本体の右下隅がスタンドに接触するため、ディスプレイ本体が損傷するおそれがあります。





 **注記**：情報を縦向きに表示するには、[HP Image Auto-rotate Utility] (HP 画像自動回転ユーティリティ) をインストールします。このソフトウェアは、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> からダウンロードできます。オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの配置も縦向きに変更できます。OSD メニューを回転するには、ディスプレイの前面にある **メニュー** ボタンを押して、OSD メニューにアクセスします。次に、メニューの **[OSD Control]** (OSD コントロール) を選択して、**[OSD Rotation]** (OSD 回転) を選択します。


## ディスプレイの電源投入

1. 入力デバイスの電源ボタンを押して、入力デバイスの電源を入れます。
2. ディスプレイのフロントパネルの底面にある電源ボタンを押してディスプレイの電源を入れます。



 **注意**：すべての LCD ディスプレイで、画面に 12 時間以上同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間ディスプレイを使用しないときはディスプレイの電源を切ります。「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

 **注記**：電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、ディスプレイの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。


 **注記**：電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。ディスプレイの前面にある **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開きます。OSD メニューで、**[電力コントロール]**→**[電源ランプ]**→**[オフ]**の順に選択します。


ディスプレイの電源が入ると、**[ディスプレイステータス]** メッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り替え設定のステータス (オンまたはオフ、工場出荷時の初期設定はオン)、現在のプリセットディスプレイ解像度、および推奨されるプリセットディスプレイ解像度が示されます。

ディスプレイは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

## ディスプレイの取り付け

ディスプレイ本体は、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記：**この装置は、UL 準拠または CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

 **注意：**このディスプレイは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このディスプレイ本体に他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジを使用すると、ディスプレイが損傷する可能性があります。また、取り付けの固定器具が VESA 基準に準拠していること、およびディスプレイ本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、ディスプレイに付属の電源コードおよびビデオケーブルを使用してください。

## ディスプレイスタンドの取り外し

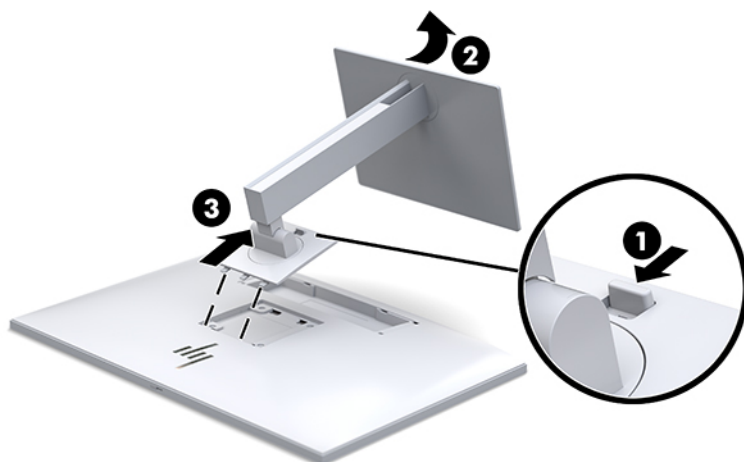
ディスプレイからスタンドを取り外して、ディスプレイを壁掛け式にしたり、またはスイングアームやその他の固定器具を取り付けたりすることができます。

**△注意：**ディスプレイの取り外し作業を始める前に、ディスプレイの電源が切られていることおよびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. コードカバーの上部にあるラッチを押し下げ (1)、コードカバーを下方向に引いて (2) ディスプレイの背面から取り外します。

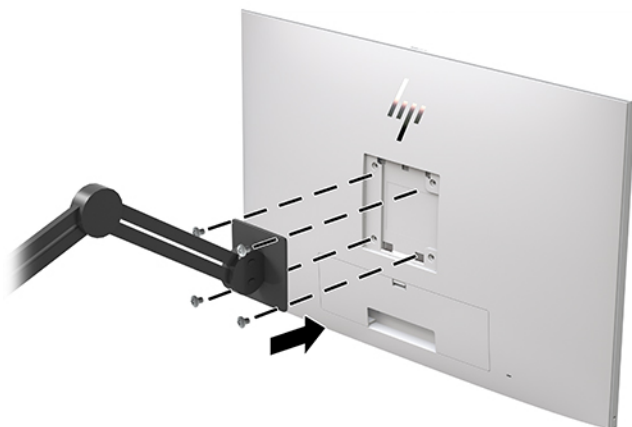



2. ディスプレイからすべてのケーブルを取り外します。
3. ディスプレイ本体の前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
4. ディスプレイ下部の中央近くにあるラッチを押し上げて (1)、HP クイックリリース2 のロックを解除します。
5. スタンドの下部を上方向に回転させ、マウントプレートに隠れていたディスプレイの背面のくぼみが完全に見えるようにします (2)。
6. スタンドをスライドさせて、くぼみから取り外します (3)。



## 取り付け器具へのディスプレイ本体の取り付け

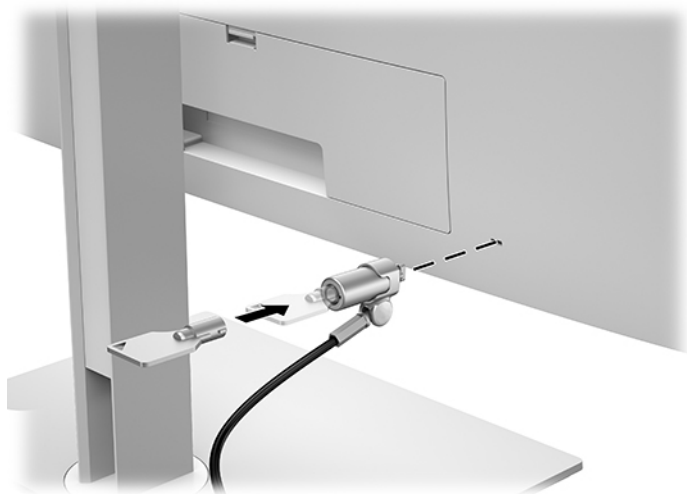
1. スタンドからディスプレイ本体を取り外します。[20 ページのディスプレイ スタンドの取り外し](#)を参照してください。
2. ディスプレイ本体の背面にある VESA 基準の取り付け穴から 4 本のネジを取り外します。
3. ディスプレイの背面にある VESA 基準の取り付け穴から取り外した 4 本のネジを使って、マウントプレートを所定の壁またはスイングアームに取り付けます。



 **重要:** ディスプレイを壁面またはスイングアームに取り付けるときは、取り付け器具の製造元の説明書に沿って作業をしてください。

## セキュリティロックケーブルの取り付け

別売のセキュリティロックケーブルを使用して、ディスプレイを固定物に固定できます。



## 2 ディスプレイの使用

### ディスプレイドライバーのダウンロード

以下のファイルを <https://support.hp.com/jp-ja/> からダウンロードし、インストールできます。

- INF（情報）ファイル
- ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）

ファイルをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスします。
2. [ソフトウェアとドライバー]または[ソフトウェア/ドライバー]を選択します。
3. 製品の種類を選択します
4. お使いの HP ディスプレイのモデルを検索フィールドに入力します。

### オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用して、好みに応じて画面表示を調整します。ディスプレイの前面にあるボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. ディスプレイの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してディスプレイの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、フロントパネルにある4つの機能ボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開きます。
3. 4つの機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。ボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。

以下の表に、メインメニューのメニュー項目を示します。

表 2-1 OSD メニュー オプションおよび説明

メインメニュー	説明
輝度	画面の輝度を調整します
カラーコントロール	DICOM 設定および色空間を選択し、画面の色を調整します
入力コントロール	ビデオ入力信号を選択します
イメージコントロール	画像を調整します
PIP コントロール	PIP（Picture-In-Picture）画像を選択および調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニューコントロール	OSD メニューおよび機能ボタンのコントロールを調整します

表 2-1 OSD メニュー オプションおよび説明 (続き)

メインメニュー	説明
マネージメント	DDC/CI サポートを有効または無効にして、すべての OSD メニュー設定を初期設定に戻します
USB ホストの選択	USB 入力ソースを選択します
消毒	消毒のログを更新し、[消毒のログを表示]を開き、時間単位のアラートを設定します
終了	OSD メニュー画面を終了します


## 機能ボタンの再設定

フロントパネルにある4つのボタンのどれかを押すと、ボタンが有効になり、ボタンの上にアイコンが表示されます。工場出荷時の初期設定のボタンのアイコンおよび機能を以下に示します。

表 2-2 機能ボタンおよび説明

ボタン	機能
1 <b>メニュー</b> ボタン	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが表示されます
2 <b>カラーコントロール</b> ボタン 割り当て可能な機能ボタン 2	カラーコントロールメニューが表示されます
3 <b>表示モード</b> ボタン 割り当て可能な機能ボタン 3	ディスプレイの表示モードが切り替わります
4 <b>次のアクティブな入力</b> ボタン 割り当て可能な機能ボタン 4	ディスプレイの入力ソースが次のアクティブな入力に切り替わります

3つの割り当て可能な機能ボタンを初期設定から変更し、ボタンが有効になったときに、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。

 **注記:** 再設定できる機能ボタンは3つのみです。**メニュー** ボタンおよび**電源** ボタンは再設定できません。

機能ボタンを再設定するには、以下の操作を行います。


1. フロントパネルにある4つのボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開きます。
2. OSD メニューで、**[メニューコントロール]**→**[機能ボタンの設定]**の順に選択し、再設定するボタンで使用可能なオプションのどれかを選択します。


## 色のオプションの使用

このディスプレイは、DICOM Part 14 に準拠した製品として認定されており、臨床医がクリニカルレビュー、同僚との協議、患者の診察、または画像の確認のために医用画像を表示するときに使用できます。このディスプレイは汎用デバイスであり、人の疾病やその他の症状の診断、治癒、治療、または予防に使用することを意図したものではありません。

このディスプレイは工場出荷時に調整されており、色の初期設定は DICOM (0.0 ALC) です。色設定を別のプリセットまたはカスタム設定に変更するには、以下の操作を行います。

1. ディスプレイの前面にある **メニュー** ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
2. **[カラーコントロール]** メニューに移動して強調表示させ、目的の色設定 (プリセットまたはカスタム設定オプションのどちらか) を選択します。
3. **[保存して戻る]** をクリックします。

 **注記:** 医用画像を表示する場合は、ディスプレイの色設定が DICOM に設定されていることを確認してください。

 **注記:** DICOM 色を選択すると、ダイナミックコントラスト比 (DCR) は無効になります。

以下の表に、[カラーコントロール]メニューのオプションを示します。

**表 2-3 カラーコントロールメニューの項目**

メインメニュー	説明
sRGB (D65)	画面の色をイメージテクノロジー業界で使用される規格に適合した色に設定します
DICOM (0.0 ALC)	周辺光補正ゼロで画面を DICOM Part 14 GSDF に設定します
DICOM (2.2 ALC)	表示状態が暗い場合に周辺光設定 2.2 で画面を DICOM Part 14 GSDF に設定します
中間	カラー設定を 6500K 色温度範囲内のポイントに設定します
寒色	カラー設定を 9300K 色温度範囲内のポイントに設定します
表示モード	ディスプレイの表示モードを設定します
カスタム RGB	独自の色レベルを選択したり調整したりできます <ul style="list-style-type: none"><li>● R: 赤色のレベルを設定します</li><li>● G: 緑色のレベルを設定します</li><li>● B: 青色のレベルを設定します</li></ul>



## ディスプレイのキャリブレーション

工場出荷時に調整されている DICOM 設定または sRGB 色空間を変更する場合は、ディスプレイを再調整する必要があります。DICOM または sRGB の色設定を調整または変更するには、HP のディスプレイのサポート Web サイトから [HP Healthcare Edition DICOM Calibration Tool] (HP ヘルスケア エディション DICOM キャリブレーション ツール) をダウンロードする必要があります。

**△ 注意:** ソフトウェアをインストールする前に、コンピューターとディスプレイを接続します。ビデオケーブルおよび USB Type-B-USB Type-A (アップストリーム) ケーブルで接続するか、USB Type-C-USB Type-C ケーブルで接続します (各ケーブルは付属しています)。詳しくは、[11 ページのケーブルの接続](#)を参照してください。

1. HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスします。
2. [ソフトウェアとドライバー] または [ソフトウェア/ドライバー] を選択します。
3. お使いのディスプレイ モデルを検索します。
4. 利用可能なソフトウェアまたはドライバーを展開します。
5. [HP Healthcare Edition DICOM Calibration Tool] を選択し、ダウンロードしてインストールします。

**△ 注意:** ディスプレイを調整するには、[HP Healthcare Edition DICOM Calibration Tool] を管理者モードで実行する必要があります。

## RFID カードリーダーの使用

このディスプレイは、125 kHz および 13.56 MHz の周波数を同時に読み取ることができるデュアルバンド RFID (Radio Frequency IDentification : 無線自動識別) カードリーダーを搭載しています。このカードリーダーを使うと、承認されているカード資格情報を使用してすばやくシステムにログインできます。

**📖 注記:** RFID カードの一般的な資格情報はほとんどサポートされていますが、はじめて使用する場合は構成が必要になる場合があります。

1. USB Type-A-USB Type-B ケーブルの USB Type-A コネクタを入力デバイスの USB ダウンストリームポートに接続し、USB Type-B コネクタをディスプレイの背面にある USB アップストリームポートに接続します。
2. ディスプレイ パネル下部の中央にある RFID カードリーダーに RFID カードまたは RFID バッジを近づけます。カードまたはバッジが RFID カードリーダーから 2 cm の範囲よりも遠くに離れないようにしてください。

**△ 注意:** RFID カードリーダーの近くに他の磁気デバイスがあると、カードの検出に影響することがあります。


3. カードまたはバッジが検出されたら、カードまたはバッジを RFID カードリーダーから離します。検出は自動的に行われ、数秒以内に完了します。

## [Windows Hello]の使用

指紋認証システムや赤外線カメラを搭載している製品では、指を滑らせるかカメラを見ることで [Windows Hello] を使用してサインインできます。

[Windows Hello] を設定するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]ボタン**→**[設定]**→**[アカウント]**→**[サインイン オプション]**の順に選択します。
2. **[Windows Hello]**で画面の説明に沿って操作し、パスワードおよび PIN の両方を追加してから、指紋または顔の ID を登録します。

 **注記**：PIN の長さに制限はありませんが、数字のみで構成する必要があります。英字および特殊文字は使用できません。

## PIP (Picture-In-Picture) および PBP (Picture-Beside-Picture) の使用

このディスプレイは、1つのソースをもう1つのソースに重ねて表示する PIP と、1つのソースともう1つのソースを水平（横向きの場合）または垂直（縦向きの場合）に並べて表示する PBP の両方をサポートしています。

PIP または PBP を使用するには、以下の操作を行います。

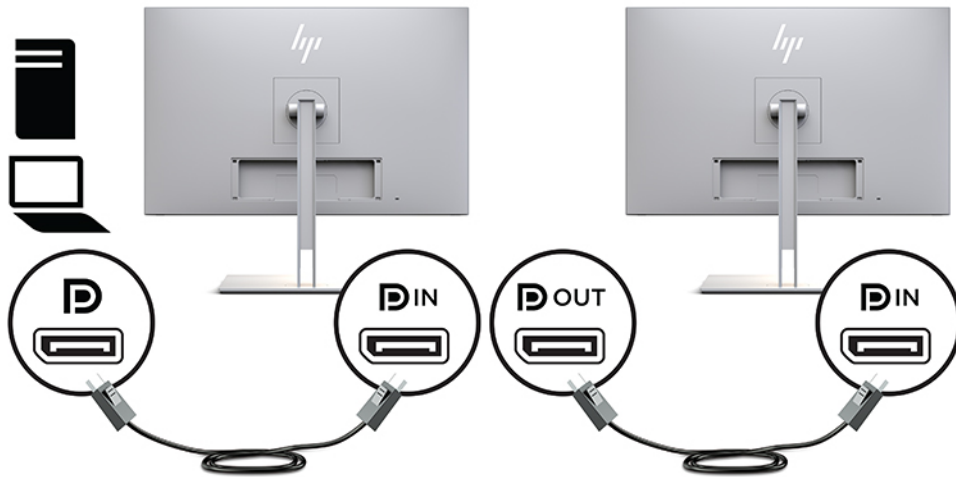
1. 2番目の入力ソースをディスプレイに接続します。
2. フロントパネルにある4つの機能ボタンのどれかを押しボタンを有効にしてから、**メニュー**ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
3. OSD メニューで、**[PIP コントロール]**→**[PIP のオン/オフ]**の順に選択し、**[PIP (Picture-in-Picture)]** または **[PBP (Picture-beside-Picture)]** を選択します。
4. ディスプレイは2番目の入力をスキャンして有効な入力を検出し、その入力を使用して PIP または PBP 画像を表示します。PIP または PBP 入力を変更する場合は、OSD メニューで **[PIP コントロール]**→**[入力の割り当て]**の順に選択し、目的の入力ソースを選択します。
5. PIP のサイズを変更する場合は、OSD メニューで **[PIP のサイズ]** を選択し、目的のサイズを選択します。
6. PIP の位置を調整する場合は、OSD メニューで、**[PIP の位置]** を選択し、目的の位置を選択します。

## DisplayPort マルチストリーム

DisplayPort をメインのビデオ入力ソースとして使用している場合は、デージーチェーン構成で接続されている他の DisplayPort ディスプレイにマルチストリーム出力できます。この構成で最大 4 台のディスプレイを接続できます（グラフィックスカードでサポートされる場合）。

DisplayPort マルチストリームを使用するには、以下の操作を行います。

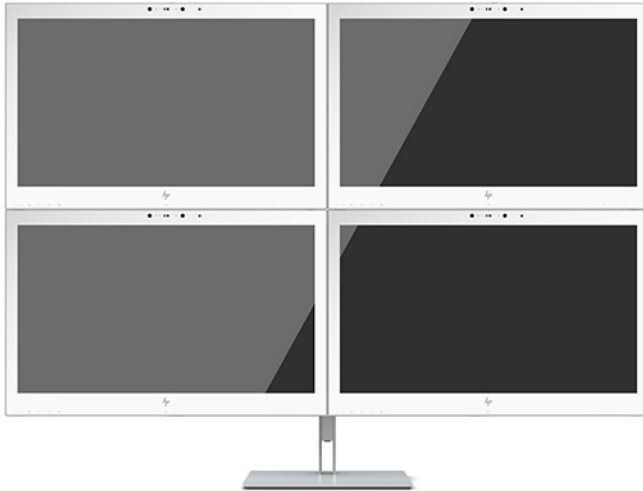
1. DisplayPort がメインのビデオ入力に使用されていることを確認します。
2. DisplayPort ケーブルをメインディスプレイの DisplayPort 出力コネクタに接続してから、マルチストリーム用またはマルチストリーム用ではない 2 番目のディスプレイの DisplayPort 入力コネクタに接続して、2 番目のディスプレイを追加します。



3. 接続したディスプレイにメインディスプレイと同じ画像または異なる画像が表示されるように、接続したディスプレイを設定します。接続したディスプレイのオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで、**[マネージメント]**→**[DisplayPort の互換性]**の順に選択し、以下のどちらかを選択します。
  - a. **[DisplayPort 1.1 互換モード]** (初期設定) : ダウンストリームポートに接続したすべての設定中のディスプレイに同じビデオ画像を送信できます。
  - b. **[DisplayPort 1.2]** : ダウンストリームポートに接続したすべての設定中のディスプレイに異なるビデオ画像を送信できます。
4. OSD で DisplayPort の互換モードを設定したら、コンピューターのオペレーティングシステムのディスプレイ設定を使用して 2 番目のディスプレイの表示モードを設定し、メインディスプレイの画像を複製して表示するか、2 番目のディスプレイを拡張してメインディスプレイと異なる画像を表示するようにします。

ダウンストリームポートにディスプレイを追加するには（最大 4 台）、最後に接続されるディスプレイを除くすべてのディスプレイが DisplayPort マルチストリームをサポートしている必要があります。

1 台のディスプレイの DisplayPort 出力とその次のディスプレイの DisplayPort 入力を接続する作業を、目的の数のディスプレイが接続されるまで繰り返します。



各ディスプレイに異なる情報が表示されるようにするには、アップストリームポートに接続されたすべてのディスプレイを上記の[DisplayPort 1.2]モードに設定してください。

DisplayPort マルチストリームを使用して接続できるディスプレイの数は、各ディスプレイの解像度および走査速度や、GPU または内蔵のグラフィックスシステムの機能など、さまざまな要因によって異なります。グラフィックスカードの機能について詳しくは、グラフィックスカードに付属の説明書を参照してください。

**表 2-4 DisplayPort マルチストリーム**

解像度	マルチストリームの最大表示数
1280×720	4
1600×900	4
1920×1080	4
1920×1200	3
2560×1440	2

## 自動スリープモードの使用

このディスプレイは、自動スリープモードを設定することにより、ディスプレイの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合 (初期設定では有効)、ホスト PC から低電力モードの信号 (水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態) を受け取ると、ディスプレイは省電力状態になります。

省電力状態になると、ディスプレイの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のディスプレイの消費電力は 1 W 未満です。ホスト PC からアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、ディスプレイはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードは OSD メニューで無効にできます。フロントパネルにある 4 つの機能ボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、メニュー ボタンを押して OSD メニューを開きます。OSD メニューで、[電力コントロール]→[自動スリープモード]→[オフ]の順に選択します。

# 3 サポートおよびトラブルシューティング

## 一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

表 3-1 トラブルおよび解決方法

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されな いか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	電源ボタンがオフになっ ている	前面の電源ボタンを押します  <b>注記：</b> 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが正しく接続 されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 <a href="#">11 ページのケーブルの接続</a> を参照してください
	システムがスリープモードに なっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
ビデオカードの互換性に問題 がある	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 <b>[入力コントロール]</b> メニューを選択します。 <b>[自動切替入力]</b> を <b>[オフ]</b> に設定し、手動で入力を選択します	
画像がぼやけている、不 鮮明、または暗すぎる	輝度設定が低すぎる	OSD メニューを開いて <b>[輝度]</b> を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
スピーカーの音が出な いか、スピーカーの音量 が低い	OSD メニューで音量が低く なっている	OSD メニューを開いて、 <b>[オーディオコントロール]</b> → <b>[Volume]</b> (音量) の順に選択してから、音量スケールを調整します
	ボリュームがミュート (消音) に設定されている	スピーカーのミュートランプがオレンジ色の場合は、消音になっています。スピーカーのミュートボタンまたは+/- (プラス/マイナス) ボタンを押します
	ヘッドフォンが接続されてい る	ヘッドフォンを取り外します。ヘッドフォンが接続されていると、スピーカーは無効になります
	オーディオソースが選択され ていない	OSD メニューを開いて、 <b>[オーディオコントロール]</b> を選択し、オーディオソースを選択します
	初期設定の PC 再生デバイスが 選択されていない	<b>[PC 設定]</b> を開いて、 <b>[サウンド]</b> を選択し、 <b>[再生]</b> を選択してから、HC270cr を <b>[既定のデバイス]</b> として設定します
[Check Video Cable]と画 面に表示される	ディスプレイのビデオケーブルが外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとディスプレイを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください

表 3-1 トラブルおよび解決方法 (続き)

トラブル	原因	解決方法
<b>[Input Signal Out of Range]</b> というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、ディスプレイがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	設定値をサポートされている値に変更します。詳しくは <a href="#">36 ページのプリセットディスプレイ解像度</a> を参照してください
ディスプレイの電源は切れるが、省電力モードには移行していないように見える	ディスプレイの省電力機能が無効になっている	OSD メニューを開き、 <b>[電力コントロール]</b> → <b>[自動スリープモード]</b> の順に選択して、自動スリープを <b>[オン]</b> に設定します
<b>[OSD Lockout]</b> と画面に表示される	ディスプレイの OSD ロックアウト機能が有効になっている	ディスプレイの前面の <b>メニュー</b> ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD メニューのロックを解除します
<b>[Power Button Lockout]</b> と画面に表示される	ディスプレイの <b>電源</b> ボタンのロックアウト機能が有効になっている	<b>電源</b> ボタンを 10 秒程度押し続けて、 <b>電源</b> ボタンのロックを解除します
電源電圧	中断の兆候	イメージングシステムによって表示される画像が変化することがありますが、重大な影響はありません

## ボタンのロックアウト

電源ボタンまたはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、ディスプレイの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じている場合にのみ使用できます。

## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

### お問い合わせになる前に


トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、テクニカルサポートも利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

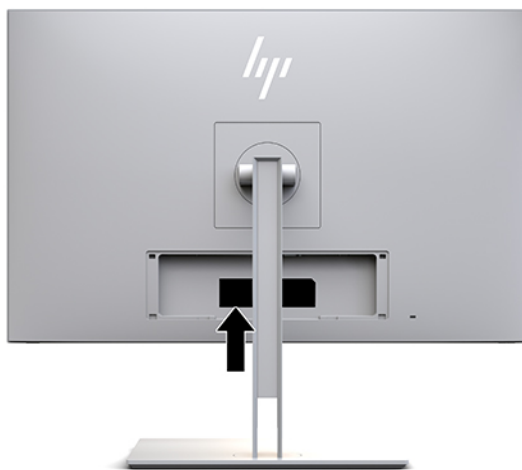
- ディスプレイのモデル番号
- ディスプレイのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラーメッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

### シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、ディスプレイの背面にあるラベルに記載されています。お使いのディスプレイについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。

モデル番号およびシリアル番号は、オンスクリーン ディスプレイ (OSD) でも確認できます。[メニュー](#) ボタンを押し、下にスクロールして[[マネージメント](#)]タブを選択します。次に、[[情報](#)]タブを選択します。

 **注記：** 場合によっては、ラベルを読むためにディスプレイ本体をある程度回転させる必要があります。





## 4 ディスプレイの保守

### 保守に関するガイドライン

ディスプレイの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- ディスプレイのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、ディスプレイを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、ディスプレイ裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- ディスプレイは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置してください。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- ディスプレイを使用していないときには、ディスプレイの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、ディスプレイを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、ディスプレイを長くお使いいただけます。


 **注記：** ディスプレイ画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- ディスプレイを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- ディスプレイは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないでください。
- ディスプレイスタンドを取り外すときは、ディスプレイの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。




## ディスプレイの清掃

1. ディ스플레이の電源を切ります。
2. すべての外付けデバイスを取り外します。
3. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、ディスプレイからほこりを取り除きます。

 **重要:** 布はあまり濡らさず、軽く湿らせた状態で使用してください。通気孔またはその他の開口部に水が入ると、ディスプレイの損傷の原因になる可能性があります。ユニットは、使用する前に自然乾燥させます。

4. 次に、以下の成分のどれかを含む除菌シートを使用して、ディスプレイのすべての面を安全に消毒します。除菌シートの製造元が提供している使用法の説明を参照してください。

 **重要:** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

**重要:** ベンゼン、シンナー、およびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをディスプレイ画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、ディスプレイが損傷するおそれがあります。

**表 4-1 推奨される清掃用の成分**

### 推奨される清掃用の成分

ベンジル-C12-18-アルキルジメチル塩化アンモニウム：0.1%未満、第4級アンモニウム化合物、C12-14-アルキル[(エチルフェニル)メチル]ジメチル、塩化物：0.1%未満

イソプロパノール：10～20%、2-ブトキシエタノール：5%未満、第4級アンモニウム化合物、C12-18-アルキル[(エチルフェニル)メチル]ジメチル、塩化物：0.5%未満、ベンジル-C12-18-アルキルジメチル塩化アンモニウム：0.5%未満

第4級アンモニウム化合物、C12-18-アルキル[(エチルフェニル)メチル]ジメチル、塩化物：0.5%未満、ベンジル-C12-18-アルキルジメチル塩化アンモニウム：0.5%未満

イソプロピルアルコール：55.0%、アルキルジメチルベンジル塩化アンモニウム：0.250%、アルキル(68%がC12、32%がC14)ジメチルエチルベンジル塩化アンモニウム：0.250%

イソプロパノール：10～20%、エチレングリコールモノブチルエーテル(2-ブトキシエタノール)：1～5%、ジイソブチルフェノキシエトキシエチルジメチルベンジル塩化アンモニウム：0.1～0.5%


次亜塩素酸ナトリウム：0.1～1%

セルロース：10～30%、エチルアルコール：0.10～1.00%

イソプロピルアルコール：30～40%、水：60～70%

過酸化水素：0.1～1.5%

ジクロロボス：18.6%


 **注記:** ディ스플레이の清掃および消毒用としてテスト済みですぐに使用できる、推奨のクリーニングシート製品については、HPの販売担当者にお問い合わせください。

5. 消毒ログを更新します。手順について詳しくは、[34 ページの消毒メニューの使用](#)を参照してください。

## 消毒メニューの使用

消毒メニューを使用して、消毒ログの更新、消毒ログの表示、消毒スケジュールのアラートの設定を行えます。消毒メニューにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. フロントパネルにある4つのボタンのどれかを押しボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押しオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
2. OSD メニューで、**【消毒】**を選択します。

※ **ヒント:** 消毒メニューにより早くアクセスするには、フロントパネルのプログラム可能なボタンのどれかにあらかじめ消毒メニューを割り当てておきます。フロントパネルにある4つのボタンのどれかを押しボタンを有効にしてから、**消毒ボタン**  を押します。

3. フロントパネルにある4つのボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。ボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。


表 4-2 消毒メニューの項目および説明

選択できるメニュー	説明
消毒のログの有効化	チェックボックスにチェックが入っている場合 (初期設定)、すべての消毒ログ機能が有効になっています
消毒のログの更新	消毒ログ一覧の最初にエントリを挿入し、タイマーをリセットします
消毒のログを表示	最初の 27 件の消毒ログ エントリが表示されます
前回の消毒から経過した時間 (時)	前回の消毒ログ エントリ以降の経過時間が表示されます
時間単位で設定された時間を過ぎたときにアラートを表示する	チェックボックスにチェックが入っている場合 (初期設定では入っていません)、時間単位のアラートを設定する機能が有効になり、画面に <b>【消毒のログを更新してください。】</b> というメッセージが表示されます
時間単位のアラートを設定	消毒のログの更新間隔を時間単位で設定できます。設定した時間数が過ぎると、ディスプレイに <b>【消毒のログを更新してください。】</b> というメッセージが表示されます

## ディスプレイの運搬

ディスプレイを運搬する場合は、ディスプレイ出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

# A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

この製品の最新の仕様またはその他の仕様については、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、お使いのディスプレイモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

## 27 インチ（対角長 68.58 cm）モデル

表 A-1 27 インチ（対角長 68.58 cm）モデルの仕様

仕様	測定値
ディスプレイ	27 インチ（68.6 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS
表示可能画像サイズ	68.6 cm/27 インチ（対角方向）
質量（非梱包時）	8.8 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ（最も高い位置のとき）	55.5 cm
高さ（最も低い位置のとき）	44.5 cm
奥行き	24.7 cm
幅	65.1 cm
最大グラフィックス解像度	2560×1440（60 Hz）
最適グラフィックス解像度	2560×1440（60 Hz）
環境条件 動作保証温度	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
輸送時温度	-34 ~ 60°C
輸送時および保管時の湿度	5 ~ 95% RH（38.7°C）
輸送時の気圧範囲	186 ~ 1013 hPa
IP 等級	IP32
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz、29 V DC（9.47 A の場合）
スリープ時	1 W 未満
電源オフ時	1 W 未満
入力端子	DisplayPort×1、USB Type-C ポート×1、HDMI 入力端子×1、VGA コネクタ×1、アナログ オーディオ入力コネクタ×1、USB Type-B ポート×1

## プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのディスプレイで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。ディスプレイによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

### 27 インチ（対角長 68.58 cm）モデル

表 A-2 プリセットディスプレイ解像度

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	720×400	31.469	70.087
2	800×600	37.879	60.317
3	1024×768	48.363	60.004
4	1280×720	45.000	60.000
5	1280×1024	63.981	60.020
6	1440×900	55.935	59.887
7	1600×900	60.000	60.000
8	1600×1200	75.000	60.000
9	1680×1050	65.290	59.954
10	1920×1080	67.500	60.000
11	1920×1200	74.038	59.950
12	1920×1200	74.556	59.885
13	2560×1440	88.787	59.951

### 高解像度ビデオフォーマット

表 A-3 プリセットタイミング解像度

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	480p	640×480	31.469	59.940
2	480p	720×480	31.469	59.940
3	720p60	1280×720	45.000	60.000
4	576p	720×576	31.250	50.000
5	720p50	1280×720	37.500	50.000
6*	1080i60	1920×1080	33.750	60.000
7*	1080i50	1920×1080	28.125	50.000
8	1080p60	1920×1080	67.500	60.000
9	1080p50	1920×1080	56.250	50.000


\* HDMI 入力のみ

## 省電力機能

このディスプレイでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、ディスプレイは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、ディスプレイの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のディスプレイの消費電力は1W未満です。短時間のウォームアップ後に通常の動作状態に戻ります。

省電力モードの設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、エネルギーセーブ機能、パワーマネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

---

 **注記：**上記のディスプレイの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

---

ディスプレイの[Sleep Timer]（スリープタイマー）ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にディスプレイが省電力状態になるように設定することもできます。ディスプレイの[Sleep Timer]ユーティリティによって省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

## B ユーザーサポート

### ユーザーサポート

HP では、ダイバーシティ（人材の多様性）、インクルージョン（受容）、およびワークライフバランスを自社の構造に組み込もうと日々努力しており、あらゆる業務にそれが反映されています。ここでは、世界中で人と技術力を結び付けることを重視したすべての人が活躍できる環境をつくるために、HP がどのように働き方に変化をもたらしているかについていくつかの例を挙げて説明します。

### 必要なテクノロジーツールの確認

テクノロジーは、人間の潜在能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。詳しくは、[39 ページの最適な支援技術の確認](#)を参照してください。

### HP の取り組み

HP は、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスを提供できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、HP の目標であるダイバーシティを実現し、あらゆる人が確実にテクノロジーを活用できるようにするために役立ちます。

ユーザーサポートにおける HP の目標は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売することです。

目標達成のために、この HP ユーザーサポートポリシーでは、HP の企業としての取り組みの指針となる 7 つの主要な目標が設定されています。HP のすべてのマネージャーおよび従業員は、自分の役割や責任に従ってこれらの目標とその実現をサポートするよう期待されます。

- 社内でユーザーサポート問題への認識を高めて、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスの設計、製造、販売、および配送に必要なトレーニングを従業員に提供します。
- 製品やサービスに関するユーザーサポートのガイドラインを作成し、製品開発グループに対しては、競争力、技術、および経済性の観点から実現可能な範囲でガイドラインに従う責任を課します。
- お身体の不自由な方に、ユーザーサポートのガイドラインの作成、および製品やサービスの設計およびテストに参加していただきます。
- ユーザーサポート機能を文書化し、HP の製品やサービスに関する情報を、お身体の不自由な方にもご利用いただける形で一般に公開します。
- 最先端の支援技術および支援ソリューションのプロバイダーとの関係を築きます。
- HP の製品やサービスに関連する支援技術の向上につながる社内および社外での研究開発をサポートします。
- ユーザーサポートに関する業界の標準やガイドラインを支持し、それらに貢献します。

## IAAP (International Association of Accessibility Professionals)

IAAP は、人の交流、教育、および認定を通じてユーザー サポートに関する専門職の発展を目指す非営利団体です。ユーザー サポートの専門家のキャリア形成やキャリアアップを支援したり、企業がユーザー サポートを自社の製品やインフラストラクチャに組み込めるようにすることを目標としています。

HP は設立メンバーであり、他の企業と協力してユーザー サポートの分野を発展させるために加わりました。この取り組みは、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただける製品やサービスを設計、製造、販売するという HP のユーザー サポートの目標の達成を後押しします。

IAAP は、世界中の個人、学生、および組織を結び付け、お互いに学び合えるようにすることで、私たちの業務自体をも強めることにつながります。詳しい情報をお知りになりたい場合は、<http://www.accessibilityassociation.org/> (英語サイト) にアクセスして、オンラインコミュニティに参加したり、ニュースレターにサインアップしたり、メンバーシップの種類を確認したりしてください。

## 最適な支援技術の確認

お身体の不自由な方やご年配の方も含め、すべての人がテクノロジーを用いてコミュニケーションをとり、自己表現し、世界とつながりを持てるようになるべきだと HP は考えます。HP は、社内だけでなく、お客様やパートナーとともに、ユーザー サポートに関する意識の向上に努めています。目にやさしい大きいフォント、両手を休ませることができる音声認識、特定の状況で役立つその他の支援技術など、さまざまな支援技術が HP 製品の操作性を向上するために利用されています。以下のセクションでは、支援技術や製品を選択する方法を説明します。

## ご自身のニーズの評価

テクノロジーは、お客様の能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術 (AT) によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

お客様は多数の AT 製品から選択できます。AT の評価では、いくつかの製品を評価し、疑問点を解決し、状況に合った最善のソリューションを選択できるようにする必要があります。AT を評価する資格を持つ専門家の専門分野は多岐にわたり、理学療法、作業療法、音声言語病理学、およびその他の専門分野で免許や認定を取得した人が含まれます。ただし、認定や免許がなくても評価情報を提供できます。個人の経験、専門知識、および料金について尋ね、ご自身のニーズに合っているかを判断してください。

## HP 製品のユーザー サポート

以下のリンクでは、各種の HP 製品に組み込まれているユーザー サポート機能および支援技術 (該当する場合) について説明しています。状況に最も適した支援技術の機能や製品を選択するために役立つリソースです。

- [HP Elite x3 - ユーザー補助オプション \(Windows 10 Mobile\) \(英語サイト\)](#)
- [HP PC - アクセシビリティ オプション \(Windows 7\)](#)
- [HP PC - Windows 8 アクセシビリティ オプション](#)
- [HP パソコン - Windows 10 のアクセシビリティ オプション](#)
- [HP 7、Slate 7 タブレット - HP タブレット \(Android 4.1/Jelly Bean 搭載\) でのユーザー補助機能の有効化](#)
- [HP SlateBook PC - ユーザー補助機能を有効にする \(Android 4.2、4.3/Jelly Bean\)](#)



- [HP Chrome OS – HP Chromebook または Chromebox でユーザー補助機能をオンにする \(Chrome OS\)](#)
- [HP のショップ – HP 製品の周辺機器](#)

HP 製品のユーザー サポート機能の他に追加のサポートも必要な場合は、[44 ページの HP のサポート窓口へのお問い合わせ](#)を参照してください。

追加の支援を提供できる外部のパートナーやサプライヤーへのリンクは以下のとおりです。

- [Microsoft のアクセシビリティ情報 \(Windows 7、Windows 8、Windows 10、Microsoft Office\)](#)
- [Google ユーザー補助機能 \(Android、Chrome、Google アプリ\)](#)
- [お困りの種類別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [製品別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [支援技術ベンダーと製品の説明 \(英語版\)](#)
- [ATIA \(Assistive Technology Industry Association\) \(英語版\)](#)

## 標準および法令

### 標準

FAR (Federal Acquisition Regulation : 連邦調達規則) に言及されている Rehabilitation Act の 508 条は、US Access Board によって、身体、知覚、または認知の障がいがある方が情報通信技術 (ICT) にアクセスできることを明記するために策定されました。この標準には、対象製品の機能に重点を置いた性能ベースの要件に加えて、各種テクノロジーに固有の技術基準が含まれています。固有の基準は、ソフトウェアアプリケーションおよびオペレーティングシステム、Web ベースの情報およびアプリケーション、コンピューター、電気通信関連の製品、動画やマルチメディア、および独立式の閉鎖型製品を対象とします。

### Mandate 376 – EN 301 549 (欧州連合向け)

The EN 301 549 standard was created by the European Union within Mandate 376 as the basis for an online toolkit for public procurement of ICT products. The standard specifies the functional accessibility requirements applicable to ICT products and services, together with a description of the test procedures and evaluation methodology for each accessibility requirement.

### WCAG (Web Content Accessibility Guidelines)

W3C の WAI (Web Accessibility Initiative) によって公開された WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) は、Web の設計者や開発者が、お身体の不自由な方やご年配の方のニーズに合ったサイトを作成するために役立ちます。WCAG は、さまざまな Web コンテンツ (テキスト、画像、オーディオ、動画) および Web アプリケーションによってユーザー サポートを向上させるガイドラインです。WCAG は厳密にテストでき、理解や使用が容易で、Web 開発者が新しい発想を取り入れられるように柔軟性を持たせています。WCAG 2.0 は、[ISO/IEC 40500:2012](#) としても承認されました。

WCAG では特に、視覚、聴覚、身体、認知、神経の障がいがある方やサポートを必要とするご年配の Web ユーザーが Web 利用時に直面する障壁に対応しています。WCAG 2.0 にはお身体の不自由な方も利用しやすいコンテンツの特徴が明記されています。



- **知覚可能**（画像のテキストによる代替、オーディオのキャプション、提供方法への適応性、色のコントラストなど）
- **操作可能**（キーボード操作、色のコントラスト、タイミング調整、発作の防止、ナビゲーション可能）
- **理解可能**（読みやすさ、予測可能性、入力支援など）
- **堅牢性**（支援技術との互換性など）

## 法令および規制

IT および情報のユーザー サポートは、法的な重要性が高まりつつある分野になってきました。このセクションの各リンクから、主要な法令、規制、および標準に関する情報を確認できます（英語のみ）。

- [United States（米国向け）](#)
- [Canada（カナダ向け）](#)
- [Europe（欧州向け）](#)
- [United Kingdom（英国向け）](#)
- [Australia（オーストラリア向け）](#)
- [全世界](#)

### United States（米国向け）

Section 508 of the Rehabilitation Act specifies that agencies must identify which standards apply to the procurement of ICT, perform market research to determine the availability of accessible products and services, and document the results of their market research. The following resources provide assistance in meeting Section 508 requirements:

- [www.section508.gov](http://www.section508.gov)
- [Buy Accessible](#)

The U.S. Access Board is currently updating the Section 508 standards. This effort will address new technologies and other areas where the standards need to be modified. For more information, go to [Section 508 Refresh](#).

Section 255 of the Telecommunications Act requires telecommunications products and services to be accessible to people with disabilities. FCC rules cover all hardware and software telephone network equipment and telecommunications equipment used in the home or office. Such equipment includes telephones, wireless handsets, fax machines, answering machines, and pagers. FCC rules also cover basic and special telecommunications services, including regular telephone calls, call waiting, speed dialing, call forwarding, computer-provided directory assistance, call monitoring, caller identification, call tracing, and repeat dialing, as well as voice mail and interactive voice response systems that provide callers with menus of choices. For more information, go to [Federal Communication Commission Section 255 information](#).

### 21st Century Communications and Video Accessibility Act (CVAA)（米国向け）

The CVAA updates federal communications law to increase the access of persons with disabilities to modern communications, updating accessibility laws enacted in the 1980s and 1990s to include new digital, broadband, and mobile innovations. Regulations are enforced by the FCC and documented as 47 CFR Part 14 and Part 79.

- [FCC Guide on the CVAA](#)

Other U.S. legislation and initiatives

- [Americans with Disabilities Act \(ADA\), Telecommunications Act, the Rehabilitation Act and others](#)

## Canada (カナダ向け)

The Accessibility for Ontarians with Disabilities Act was established to develop and implement accessibility standards to make goods, services, and facilities accessible to Ontarians with disabilities and to provide for the involvement of persons with disabilities in the development of the accessibility standards. The first standard of the AODA is the customer service standard; however, standards for transportation, employment, and information and communication are also being developed. The AODA applies to the Government of Ontario, the Legislative Assembly, every designated public sector organization, and to every other person or organization that provides goods, services, or facilities to the public or other third parties and that has at least one employee in Ontario; and accessibility measures must be implemented on or before January 1, 2025. For more information, go to [Accessibility for Ontarians with Disability Act \(AODA\)](#).

## Europe (欧州向け)

EU Mandate 376 ETSI Technical Report ETSI DTR 102 612: "Human Factors (HF); European accessibility requirements for public procurement of products and services in the ICT domain (European Commission Mandate M 376, Phase 1)" has been released.

Background: The three European Standardization Organizations have set up two parallel project teams to carry out the work specified in the European Commission "Mandate 376 to CEN, CENELEC and ETSI, in Support of Accessibility Requirements for Public Procurement of Products and Services in the ICT Domain."

ETSI TC Human Factors Specialist Task Force 333 has developed ETSI DTR 102 612. Further details about the work performed by STF333 (e.g., Terms of Reference, specification of the detailed work tasks, time plan for the work, previous drafts, listing of comments received and means to contact the task force) can be found at the [Special Task Force 333](#).

The parts relating to the assessment of suitable testing and conformity schemes were carried out by a parallel project, detailed in CEN BT/WG185/PT. For further information, go to the CEN project team website. The two projects are closely coordinated.

- [CEN project team](#)
- [European Commission mandate for e-accessibility \(PDF 46KB\)](#)
- [Commission takes low profile on e-accessibility](#)

## United Kingdom (英国向け)

The Disability Discrimination Act of 1995 (DDA) was enacted to ensure that websites are accessible to blind and disabled users in the United Kingdom.

- [W3C UK Policies](#)

## Australia (オーストラリア向け)

The Australian government has announced their plan to implement [Web Content Accessibility Guidelines 2.0](#).


All Australian government websites will require Level A compliance by 2012, and Double A by 2015. The new standard replaces WCAG 1.0, which was introduced as a mandated requirement for agencies in 2000.

## 全世界

- [JTC1 SWG-A \(Special Working Group on Accessibility\) \(英語サイト\)](#)
- [G3ict: The Global Initiative for Inclusive ICTs \(英語サイト\)](#)
- [イタリアのユーザー サポート法令 \(イタリア語サイト\)](#)
- [W3C WAI \(Web Accessibility Initiative\) \(英語サイト\)](#)

## ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク

以下の組織から、障がいや年齢による身体的制限に関する適切な情報を得られる場合があります。

 **注記：**この一覧に記載されている組織がすべてではありません。これらの組織は、情報提供のみを目的として記載されています。インターネットで確認された情報または連絡先について HP は一切の責任を負わないものとします。このページの一覧は、HP による推奨を示すものではありません。

### 組織 (英語のみ)

- AAPD (American Association of People with Disabilities)
- ATAP (Association of Assistive Technology Act Programs)
- HLAA (Hearing Loss Association of America)
- ITTATC (Information Technology Technical Assistance and Training Center)
- Lighthouse International
- National Association of the Deaf
- National Federation of the Blind
- RESNA (Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America)
- TDI (Telecommunications for the Deaf and Hard of Hearing, Inc.)
- W3C WAI (Web Accessibility Initiative)

### 教育機関 (英語のみ)

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、Center on Disabilities
- ウィスコンシン大学マディソン校、Trace Center
- ミネソタ大学、Computer Accommodations Program

### 障がいに関するその他のリソース (英語のみ)

- ADA (Americans with Disabilities Act) Technical Assistance Program
- ILO Global Business and Disability Network
- EnableMart
- European Disability Forum (欧州障害フォーラム)
- Job Accommodation Network

- Microsoft Enable
- 米国司法省 : A Guide to Disability Rights Laws

## HP のリンク

[お問い合わせの Web フォーム \(英語サイト\)](#)

[HP の『快適に使用していただくために』\(言語を選択してください\)](#)

[HP の公的機関への販売 \(米国向け\)](#)

## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのお問い合わせ先またはサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> または <https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。日本以外の国や地域でのサポートについては、[http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html) (英語サイト) から該当する国や地域、または言語を選択してください。説明に沿ってお使いの製品を探します。